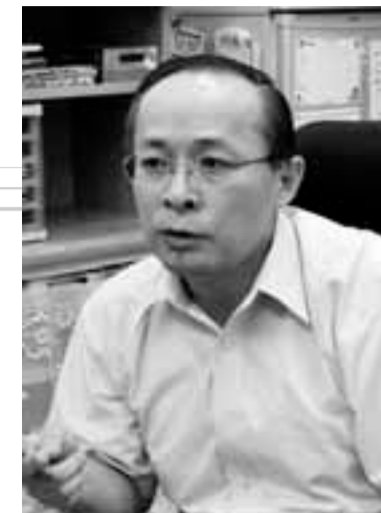


内科②

従来の支援診が

評価されない矛盾

強化型支援診のハードル



岩崎 弘幸先生 (横浜市保土ヶ谷区)

診療報酬明細書を見て

強化型支援診になることにメリットを感じない。医師同士で個人的に依頼し、お盆休みや冬休みをカバーし合えば十分だ。

連携体制を組むにしても、何百人も在宅患者がいる医療機関と、在宅患者は5〜10人という医療機関が

強化型支援診になることにメリットを感じない。医師同士で個人的に依頼し、お盆休みや冬休みをカバーし合えば十分だ。

連携体制を組むにしても、何百人も在宅患者がいる医療機関と、在宅患者は5〜10人という医療機関が

強化型支援診になることにメリットを感じない。医師同士で個人的に依頼し、お盆休みや冬休みをカバーし合えば十分だ。

連携体制を組むにしても、何百人も在宅患者がいる医療機関と、在宅患者は5〜10人という医療機関が

今次改定の爪痕

6月下旬、今次診療報酬改定を受けて初めての振り込みがなされた。新点数から4カ月余り。協会では各科の先生方に現場の実感を聞いた。第2回目の今回は、在宅医療に取り組む内科の声を紹介する。

医療情報部は7月26日、情報管理・監視問題を考える市民講座を開催。「情報統制と監視のなかの共通番号制」をテーマに、上智大学文学部教授の田島泰彦氏が講演した。当日は会員、市民など31名が参加した。



田島泰彦教授

が同時期に出てきた意味は、情報統制・コントロールをしたという国など統治者側からの政策とアプローチの表れだと強調した。我々市民側は「情報は市民

が同時期に出てきた意味は、情報統制・コントロールをしたという国など統治者側からの政策とアプローチの表れだと強調した。我々市民側は「情報は市民

が同時期に出てきた意味は、情報統制・コントロールをしたという国など統治者側からの政策とアプローチの表れだと強調した。我々市民側は「情報は市民

焦点は「情報は誰のものか」

情報管理・監視問題を考える市民講座

共通番号制と秘密保全法の根本問題

頼りにされれば 応えなくなる

曖昧広範な秘密保護市民の知る権利、報道の自由が形骸化

自公政権から民主党政権へと継承された表現規制の

曖昧広範な秘密保護市民の知る権利、報道の自由が形骸化

自公政権から民主党政権へと継承された表現規制の

曖昧広範な秘密保護市民の知る権利、報道の自由が形骸化

自公政権から民主党政権へと継承された表現規制の

今回の改定によって、これまで在宅医療をやっていた医療機関が安易な考えで取り組んでしまう懸念がある。在宅医療に取り組む医師を増やしたい国の

今回の改定によって、これまで在宅医療をやっていた医療機関が安易な考えで取り組んでしまう懸念がある。在宅医療に取り組む医師を増やしたい国の

今回の改定によって、これまで在宅医療をやっていた医療機関が安易な考えで取り組んでしまう懸念がある。在宅医療に取り組む医師を増やしたい国の

共通番号制 様々な角度から問題提起

市民シンポが開催



共通番号制法案の国会審議が目前にせまった7月22日、上智大学にて市民シンポジウム「共通番号制のすべてを知ろう」が開催された。主催は同シンポジウム実行委員会

共通番号制法案の国会審議が目前にせまった7月22日、上智大学にて市民シンポジウム「共通番号制のすべてを知ろう」が開催された。主催は同シンポジウム実行委員会

共通番号制法案の国会審議が目前にせまった7月22日、上智大学にて市民シンポジウム「共通番号制のすべてを知ろう」が開催された。主催は同シンポジウム実行委員会

期に国会に提出された根源には、政府など統治者の側から情報統制・監視社会化という政策とアプローチの明確な意図がある

期に国会に提出された根源には、政府など統治者の側から情報統制・監視社会化という政策とアプローチの明確な意図がある

期に国会に提出された根源には、政府など統治者の側から情報統制・監視社会化という政策とアプローチの明確な意図がある